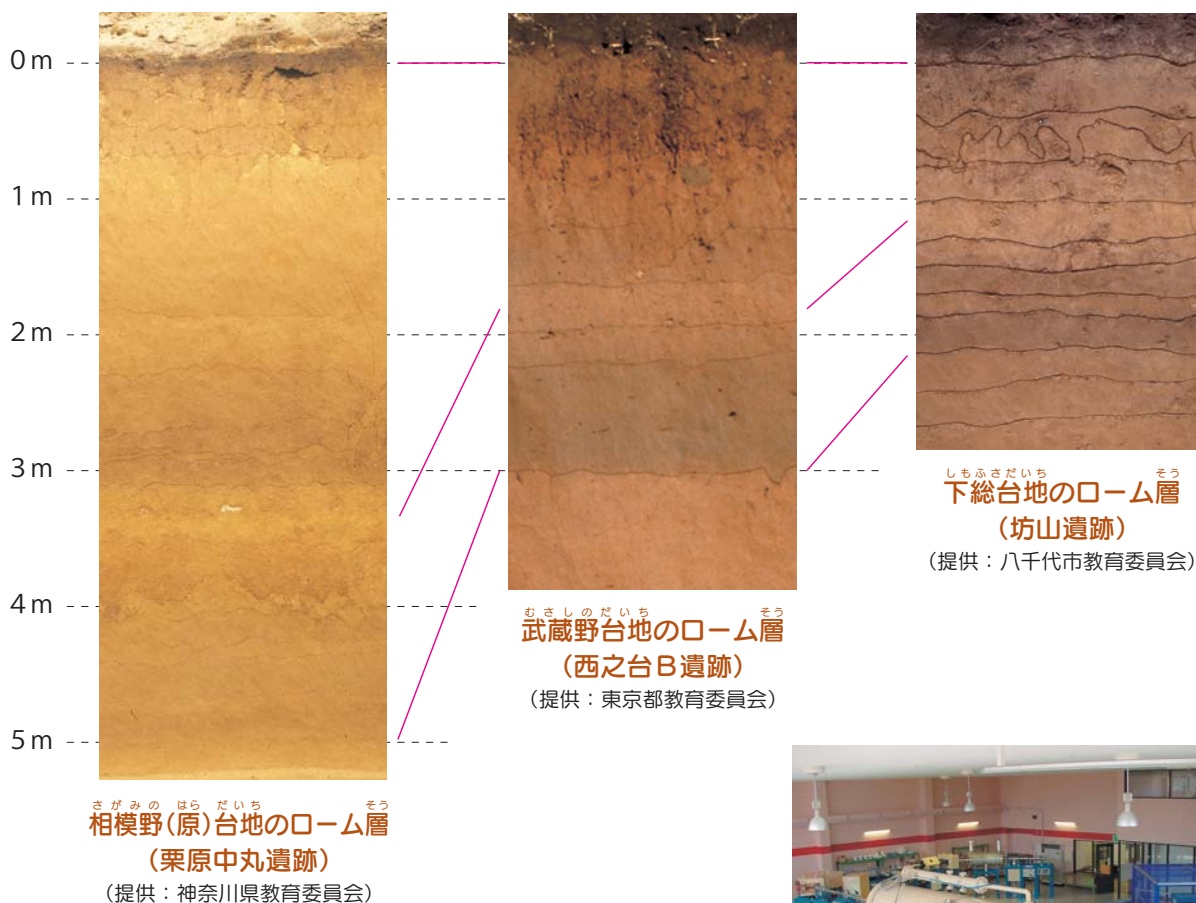


II-6

どのようにして年代を決めるのだろうか？

岩宿遺跡では、異なる地層から石器が発見され、3つの時期があることが明らかになりました。地層の違いによって時期の違いがわかったのです。また、火山灰でできたローム層では、離れた遺跡でも同じ火山灰が降り積もっていれば、その地層を比較することでその時期の古さを比べることができます。

それでは、何年前といった年代はどのようにして調べるのでしょうか。それには大形の特別な装置が必要です。炭の元素の中にわずかですが、その元素が他の物質になってしまう特殊なものが含まれています。このわずかな物質は5千数百年間で半分になるため、その分量を測定することによって、その炭の年代が明らかになるというものです。



●火山灰やローム層を比べてみよう

同じ遺跡では地層の上下で時期の違いがわかる。離れた遺跡でも同じ火山灰が積もっていれば、それらの遺跡の間でも年代を比べることができる。南関東地方のローム層はその多くが富士山の火山灰からできているので、遺跡同士の地層を簡単に比べることができる。また、相模野(原)台地、武蔵野台地、下総台地と富士山から離れるにしたがって、ローム層が薄くなる。



●年代の測定装置

(提供：加速器分析研究所)

この巨大な測定器は、特殊な炭素の分量を正確に測定することで年代を割り出すことができる。